

## 「ごみ減量化に向けて」アンケート(案)

該当するものの番号に○を付けてください。

調査票への回答者についてお答えください。(1つ○印)

Q 1. 回答者

1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 世帯主の子 4 その他( )

Q 2. 性別

1 男性 2 女性

Q 3. 年齢

1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代

5 60歳代 6 70歳代 7 80歳代以上

Q 4. 住所(町名まで)

生駒市( )

Q 5. 何人世帯ですか。

回答者ご本人を含めて( )人

現状の燃えるごみの出し方についてお答えください。(1つ○印)

Q 6. 主に何リットルの袋を使っていますか。

1 7ℓ 2 15ℓ 3 30ℓ 4 45ℓ

Q 7. 燃えるごみを出す頻度は有料化前と有料化後ではどれくらいですか。

	週2回	週1回	2週間に1回	その他
有料化前	1	2	3	4( )
有料化後	1	2	3	4( )

Q 8. 有料化が始まってから、燃えるごみの量は減りましたか。

1 減った。 2 変わらない。 3 増えた。

〔「減った」と答えた人に〕

・特に減ったごみの「種類」と「取り組んだ内容」は何ですか。

	種類	取り組んだ内容
【記入例】	生ごみ	生ごみ処理器を使った。
重量(重さ)で減ったもの		
容積(かさ)で減ったもの		

Q 9. プラスチック製容器包装（※）を分別して資源ごみとして出していますか。

- 1 はい 2 いいえ

〔「いいえ」と答えた人に〕

・分別しない理由は何ですか。（いくつでも○印）

- 1 面倒だから
- 2 資源ごみの集積所が遠い。
- 3 分別の仕方がよくわからない。
- 4 プラスチック製容器包装を分別することを知らなかった。
- 5 分別する必要があると思うから
- 6 その他（ ）

（※）プラスチック製容器包装とは、商品が入っている「容器」、商品を包んでいる「包装」でプラスチック製のもの、基本的には  「プラマーク」が付いているものです。

Q10. ミックスペーパー（※）を燃えるごみの日や集団資源回収に資源ごみとして分別して出していますか。

- 1 はい 2 いいえ

〔「いいえ」と答えた人に〕

・分別しない理由は何ですか。（いくつでも○印）

- 1 面倒だから
- 2 分別の仕方がよくわからない。
- 3 ミックスペーパーを分別することを知らなかった。
- 4 分別する必要があると思うから
- 5 その他（ ）

（※）ミックスペーパーとは、新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パック以外の、紙箱・紙袋・パンフレット・封筒などほとんどの紙のことです。（汚れた紙、臭いの強い紙は除く）

環境・ごみ問題への関心や、ごみ減量・リサイクル活動等についてお答えください。

Q11. 環境・ごみ問題に関心はありますか。（1つ○印）

- 1 大いに関心がある。
- 2 少し関心がある。
- 3 あまり関心がない。
- 4 まったく関心がない。

Q12. 環境・ごみ問題についての情報・知識を得る方法として、やっていることがあればお答えください。（いくつでも○印）

- 1 環境・ごみ問題に関する新聞記事やテレビ番組を見る。
- 2 市の広報紙やリーフレットなどを見る。

- 3 環境・ごみ問題に関する講演会やイベントなどに参加したことがある。
- 4 ごみ・リサイクル施設の見学に参加したことがある。
- 5 その他 ( )
- 6 何もやっていない。

Q13. 生駒市では、循環型社会、低炭素社会の構築により持続可能な社会を実現するために、平成23年度から32年度までの10年間でごみの焼却量を半減させるという「ごみ半減プラン」を平成23年5月に策定しました。あなたは「ごみ半減プラン」を知っていますか。(1つ○印)

- 1 内容までよく知っている。 2 内容を少し知っている。
- 3 名前は聞いたことがある。 4 まったく知らない。

Q14. 燃えるごみを削減するためには、以下に上げるようなことを行うと効果があると考えられています。あなたのご家庭では、このような取組みを行っていますか。または、今後行おうと思いませんか。当てはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つずつ○印)

		き す で に 行 っ て お り 、 今 後 も 引 き 続 き 行 い た い と 思 う	あ ま り 行 い た い と は 思 わ な い	今 後 は 行 い た い と 思 う	こ れ ま で に 行 っ た こ と は な い が 、 今 後 は 行 い た い と 思 う	こ れ ま で に 行 っ た こ と は な く 、 今 後 も 行 い た い と は 思 わ な い
1	バラ売りや計り売りなどを利用し、必要な量だけを買う。	1	2	3	4	4
2	消費期限・賞味期限を注意して、食品の廃棄を無くす。	1	2	3	4	4
3	生ごみは絞ってから出すなど、出来る限り水分を切る。	1	2	3	4	4
4	詰め替えできる商品を買う。	1	2	3	4	4
5	不用品をバザー、フリーマーケット、リユースショップ等に出す。	1	2	3	4	4
6	プラスチック製容器包装を徹底して分別する。	1	2	3	4	4

7	ミックスペーパーなどの紙類を徹底して分別する。	1	2	3	4
8	古着・くつ・かばんを分別して出す。	1	2	3	4
9	スーパーなどにある、ペットボトルや牛乳パック等のリサイクルボックスを利用する。	1	2	3	4
10	大型ごみをすぐに捨てずに、修理などをして長く使う。	1	2	3	4

Q15. 生ごみ処理器を持っていますか。

1 はい 2 いいえ

〔「はい」と答えた人に〕

・どの生ごみ処理器を持っていますか。(いくつでも○印)

1 機械式 2 コンポスト 3 ボカシ 4 キューロ

5 その他( )

・所有されている生ごみ処理器を現在どの程度使用されていますか。(1つ○印)

1 毎日

2 週2回

3 週1回

4 その他( )

5 使用していない。

〔「使用していない。」と答えた人に〕

・使用していない理由は何ですか。(いくつでも○印)

1 使い方が分かりにくい。

2 処理が面倒

3 経費(電気代等)がかかる。

4 臭いが気になる。

5 虫が発生する。

6 その他( )

Q16. 家庭系ごみの減量・資源化を進めるにあたって、生駒市が「ごみ半減プラン」で重点施策としている施策について、それぞれ、どの程度効果的と思いますか。(それぞれ1つずつ○印)

(プラスチック製容器包装の分別収集、紙ごみの分別収集、家庭系ごみ処理の有料化など、一部すでに実施している施策もあります。)

		非常 に効果 的と思 う	やや 効果 的と思 う	効果 的と思 わな い	あ ま り 効果 的と思 わ な い	ど ち ら も 言 え な い
1	“もったいない運動”を展開し、ごみを出す人の意識を変え、発生抑制を促す。	1	2	3	4	5
2	プラスチック製容器包装の分別収集	1	2	3	4	5
3	集団資源回収の活性化、紙ごみの分別収集など、紙類の資源化に取り組む。	1	2	3	4	5
4	家庭系ごみ処理の有料化を導入する。	1	2	3	4	5
5	生ごみの資源化に取り組む。	1	2	3	4	5
6	剪定枝等の資源化に取り組む。	1	2	3	4	5

Q17. 今後、どのようなことが変われば、あなたのご家庭の燃えるごみの量は現在より減ると思いますか。あてはまるものを選んでください。（いくつでも○印）

- 1 指定ごみ袋を今よりも高くする。
- 2 生ごみを分別して、資源ごみとして収集する。
- 3 資源ごみ集積所の数を増やす。
- 4 市がミックスペーパー分別専用の袋やシールなどを作り、全家庭に配布する。
- 5 その他（ ）

Q18. 家庭や地域及び生駒市のごみ減量の取組について、あなたの意見や提案などをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

この用紙を同封の返信用封筒に入れ（切手不要）、○月○日（○）までに投函していただきますようお願いいたします。